

阪和興業が業績予想を下方修正—直ちに格付に影響ないが、今後の業績動向を注視

以下は、阪和興業株式会社（証券コード：8078）が20/3期業績予想を下方修正したことについての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 当社は4月24日に20/3期業績予想の修正を発表した。修正後の予想は営業利益273億円（前回予想310億円）、経常利益126億円の赤字（同185億円の黒字）、親会社株主に帰属する当期純利益140億円の赤字（同107億円の黒字）である。各事業において取扱数量が減少したことに加え、南アフリカでクロム鉱の採掘およびフェロクロムの生産・販売を行うSAMANCOR社にかかる減損損失（約273億円）を計上したことが主な要因である。
- (2) クロム市況の下落などを背景に、近年SAMANCOR社の業績は厳しい状況が続いていた。本件減損損失の計上によって償却負担が軽減され、同社にかかる持分法投資損益の改善に寄与すると考えられる。また、需要が弱含む中でもSAMANCOR社にかかる減損損失を除けば底堅い利益を確保できる見通しである。最終赤字の額も19/3期末自己資本の1割未満にとどまる見込みである。このため、今回の業績予想の下方修正を受けて直ちに格付を見直す必要はないとJCRは考えている。他方、新型コロナウイルスの感染拡大に伴って金属価格が低迷しているほか、鋼材や金属原料などの需要の減速感が強まっている。今後の海外資源投資事業の業況や業績改善の動向を注視していく。

（担当）水川 雅義・近藤 昭啓

【参考】

発行体：阪和興業株式会社

長期発行体格付：BBB+

見通し：安定的

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会が定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル